

働く女性のワーキングスタイル発見マガジン

Actaleia

www.actaleia.com

May 2013
Vol.32
無料

活動、
続けていきます

Working × Woman / 澁谷直美



活動、 続けていきます

東日本大震災をきっかけに、たくさんの方の支援団体やボランティア団体が活動を始めました。しかし、震災から時間もたち、少しずつ被災地支援の活動も影が薄くなり、ボランティア機関の閉鎖もみられます。そんな中、支援団体「ガーネットみやぎ」としてまだまだ積極的に支援活動を続け、活動の基盤を固めるためにNPO法人化した団体があります。今回は、巨理・山元・石巻と広範囲に支援活動を続けているNPO法人「ガーネットみやぎ」の理事長、澁谷直美（しづやなおみ）さんにお話を伺いました。

憧れのマザーテレサ

澁谷直美さんは宮城県大河原町の出身、幼いころから明るく元気な性格で「とにかくおてんばムスメ」だったそうです。5歳のときに見た「マザーテレサ」のドキュメン

profile

「NPO 法人ガーネットみやぎ」理事長：澁谷 直美（しづや・なおみ）さん / 昭和58年、宮城県大河原町出身。高校卒業後に上京、販売業や飲食業等に携わる。店舗運営などを任されるようになるが、体調を崩し宮城に戻る。東日本大震災後、被災地支援活動を開始、巨理・山元を中心に活動。名産いちごの認知を広めるために、自らいちごの被り物でPR。任意団体の活動を組織化し、平成25年5月にはNPO 法人ガーネットみやぎ設立。ニックネームはナタリー。



タリー番組に感激、大きくなったらマザーテレサになりたいと思っていたとか。「被災地支援活動を始め、現在も続けているのは、マザーテレサに近づきたいと思っているのがそうさせているのかもしれない」と澁谷さんは語ってくれました。



東京にいく！

現在は村田町に住んでいる澁谷さん、高校を卒業後に東京での生活も経験しました。洋服などの販売をする仕事や飲食店の運営をする仕事などを経験、持前の行動力で仕事をこなしていきました。が体調を崩してしまい宮城に戻ることに。自宅で静養していたときに震災が発生しました。「村田町は水と電気が12日間止まったままでした。電気が復旧して、震災後初めてテレビで被災画像を見たときにはとても驚き、いてもたってもいられなくなりました」。

支援活動を開始

澁谷さんは、すぐに支援活動を開始。活動するうちに、支援物資の受入窓口が不足していることを実感します。「数が少ない支援物資を受け入れる仕組みが少なかったり、モノによっては受入ができなかったり、臨機応変に物資を受け入れて、必要な人にお渡しする、そんな窓口が必要」そう考えた澁谷さんは3月28日に団体を立ち上げます。支援団体「ガーネットみやぎ」の活動



のはじまりでした。お膝元の県南、特に巨理と山元を中心に活動、物資支援や産業復興に協力しています。特産品のイチゴを広めるために、イチゴの被り物でイベントに出演することもあるそうです。

意外やイガイ

単に「支援する」ではなく「自立を促す細やかな支援」、そのひとつに「イガイイガイプロジェクト」があります。養殖の牡蠣を水揚げすると、牡蠣の殻にはムール貝がたくさん付着してきます。ムール貝は邪魔者で、水揚げ後に捨てられてしまうので、今年2月には、石巻長面浦湾のムール貝のお披露目会を仙台市内のレストランドで開催。オードブル、バスタなど様々な形に姿を変えたムール貝はとても好評で、澁谷さんは今後の販売展開にも力をいれていこうと考えているそうです。

「ガーネット」に込めた想い

震災後、ずっと続けてきた支援活動です

が、時間の経過とともに被災者にも支援者にも様々な変化ができてきていると澁谷さんは感じています。「被災者の自立が必要。でも、長い時間がかかりそう。マザーテレサにはまだなれないけれど、自立に寄り添っていくことはできる」。澁谷さんは、「ガーネットみやぎ」をNPO法人として組織化し、支援活動を続けていくことにしました。たくさんの方に協力をいただき、支援をし続けるためには「個」「任意」ではなく、「社会的に認められた組織」が必要だと考えたのです。「ガーネット」は天然石のひとつ、「実りの象徴」といわれる石のもつ言葉と自分たちの活動への想いを重ね合わせているそうです。

Message for Working × Woman

何の知識もなく震災後に復興支援団体を発足し活動してまいりました。そしてこの度、本当に多くの方々からの支えがありNPO法人を設立することになりました。今後も被災者自身による復興をテーマに、地域で生まれる小さな復興たちをサポートし続けていきます。応援よろしくお願ひいたします。

Data

復興支援団体「NPO法人ガーネットみやぎ」
URL <http://garnet-m.net/>
ブログ「ガーネットみやぎ」
URL <http://garnetm.exblog.jp/>

澁谷さんで行こう！

いちご姫ナタリーと行く いちご狩り

6月15日開催予定です。
詳しくは5ページをご覧ください。



被災地の自立には長くかかりそうですが、NPO法人ガーネットみやぎと澁谷さんが、明るく元気に支援を続けてくれることでしょう。



🚗 行ってきました!



被災地を訪れ、「復興」の今を伺う 仙台発着

石巻・雄勝・南三陸

1泊ツアー

第2弾

東北ろっけんパーク企画「復興の今」を伺うツアー第2弾が、平成25年3月6日と7日に開催されました。被災地の復興とともに歩んでいる「復興大学」の取り組みを学び、石巻・雄勝・南三陸と復興に向かい邁進するみなさんを訪ねました。ガイドは、今回も東北ろっけんパークの関亮太さん。バスはお馴染み「MKB」、南三陸観光バスさんにお世話になりました。

1日目
スタート

石巻「木の屋石巻水産」に到着!

震災で大きな被害を受け、鯨大和煮の缶詰を模ったタンクが横倒しになったこともメディアで取り上げられた株式会社木の屋石巻水産。鯨大和煮やさば味噌煮などの缶詰製造を行ってきました。社屋・工場ともに被災、倉庫に保管されていた缶詰も流出。しかし社員の皆さんは高台に避難して無事でした。震災後、その被害の大きさに驚きながらも、できることから泥だらけになった缶詰を拾い集めることから始めたそうです。25年4月には美里町の新工場が稼働すること、参加者の皆さんは復興に向けたパワーに感動していました。

松友さんの頭の上に「←津波到達点」と壁に記載されています。



商品開発部の松友倫人さんから現在までの状況を伺いました

最初に、仙台駅前アエル7階にある復興大学の復興人材育成教育講義室にて講義を受けました。復興大学は、宮城の各大学が復興の担い手としての人材育成を目指して取り組んでいるもので、「復興人材育成教育」、「教育復興支援」、「地域復興支援ワンストップサービス・プラットフォーム」と「災害ボランティアステーション」の4つの事業を行っているそうです。今回は「地域復興支援ワンストップサービス・プラットフォーム」事業として復興大学が支援に取り組む石巻の企業について、被災の状況や復興支援の内容を伺いました。

復興大学にて講義



これから訪問する地域について事前に講義

バスの中でも講義です

この日は、復興大学のコーディネーター遠藤一男先生が同行してくださり、バスの中でも沿線の被災状況などをお話してくださいました。



遠藤一男先生が同行、詳しく解説してくださいました

ご夫婦できりもり、復活した「味楽」で昼食



新鮮なお刺身の盛り合わせ、準備してくれたご主人と奥様

昼食は、石巻水産物市場近くの「味楽」を訪ねた。この地域は震災後のガレキなどは撤去されたものの復興にはまだ時間がかかりそうです。ご主人は、震災後しばらく避難生活を送っていたそうですが、市場で働く皆さんの要望もあり、仮設の店舗で営業再開。朝6時から午後2時まで営業しています。

全国からの応援メッセージやイラストとともに仮事務所に陳列された缶詰



津波被害から集められた雄勝の硯石、再び出番を待つ様子を視察



硯の町、雄勝へ向かう

雄勝に向かった私たち、石巻市内の被災風景を見てきたばかりですが、バスが雄勝に入ると参加者一同、外の風景に驚きました。すっぱりと町並みが消えています。復興大学での事前学習で、雄勝に到達した津波の様子を予め学んでいましたが、実際にその場を訪れてみるとその凄まじさを実感。口数が少なくなりました。

雄勝は、書道で使用する硯や東京駅のスレート瓦でも有名な硯石の産地。その歴史や伝統を学ぶことのできた伝統産業会館も被災、今回は雄勝硯生産販売協同組合の仮事務所でお話を伺いました。

被害が大きく復旧に時間がかかったそうですが、ボランティアの協力もありも流出した石材を収集したり泥を落としたりと準備を進め、工房もできあがりしました。体制は万全ではないものの、硯や石皿などの注文に応じられているそうです。



雄勝の硯石について説明を受ける皆さん、聴く姿勢も前傾に



戸倉中学校の敷地から町を望む



高台の戸倉中学校。津波はこの階段の上にある校舎まで押し寄せました

2日目
スタート

アラスカから戻った
浮き球のお話を伺う



南三陸の語り部ツアーを体験

2日目は、南三陸町でスタート。被災の体験から町の復興に至るまでのお話しを、町内のスポットを回りながらお話しを聞ける南三陸観光協会「語り部ツアー」、今日は語り部として三浦さき子さんにお話しになりました。三浦さんの案内で、町内を視察。戸倉中学校や伊里前福幸商店街、さんさん商店街などを訪れました。三浦さんは、もともと南三陸の戸倉地区で「慶明丸」という農漁家レストランを営んでいましたが津波で被災。沈みがちな気持ちだったところ、震災から1年以上たった昨年6月、看板がわりにしていた店の名前を書いた浮き球がアラスカから戻ってきたのです。三浦さんが再びお店を開くことにした経緯を聞き、参加者皆さん拍手で応援の気持ちを表しました。

昼食は「キラキラ春告げ丼」

南三陸町では、キラキラと美しいくらと旬の食材を使用した「キラキラ丼」が復活しました。今回は、さんさん商店街の「はしもと」で「キラキラ春告げ丼」をいただきました。企画参加店舗10件で楽しみ、お店によって食材や盛り付けが異なるので、一巡するまでリピートしたいものです。5月からは「キラキラに丼」が始まる予定です。



春野菜や旬の「めかぶ」をつかった「キラキラ春告げ丼」

かつて「ウタちゃん」で一世を風靡した歌津地区にできた「伊里前福幸商店街」



海にいないタコを見に行く

最後に訪問したのは、南三陸町入谷にある「YES工房」、お馴染みの「復興タコ」をつくっている工房です。今回は、復興タコの会の大森丈広さんにお話しを伺いました。津波被害の大きかった町内で一番被害の少なかった入谷地区、工房はもともと廃校となっていた入谷中学校の施設を利用しています。町が元気になるためには生き生きと働ける場所が必要、みんなの居場所が必要と考えられた団体です。

復興タコ以外に、まゆ細工や、間伐材を使ったグッズの制作などの様子を見せていただきました。まゆ細工の作業の細かさ、できあがったものの美しさに参加者の皆さんの目は釘づけでした。



復興タコの会
大森丈広さん



皆さん忙しそう！
活気あふれるYES工房

パワーをもらった！
勉強になった！



添乗後記

今回もたくさんの方々の皆さんにお世話になりました。復興大学の佐藤先生、遠藤先生、わかりやすい解説がありがとうございました。木の屋石巻水産での松友さんのお話、雄勝視生産販売組合事務局長の千葉隆志さんのお話、現地の風景に自分たちを置いて聞くということが、TVなどでは伝わらない様々なことを感じさせてくれました。参加者の方から「やつてもらおう」「やつてあげる」の関係ではなく互いに笑顔になれる対等の関係が長続きするのいいと感じました。その通りですね。「復興支援」以上の人間関係をつくっていただけたいですね。

参加者の声

- 津波がきたところは、何もなくて恐ろしいと思ったけれど、海景色のキレイさも忘れません！
- ツアーに参加することで、メディアからでは得ることのできない現地状況、人々の声を肌で感じることでできました。
- 特に印象に残ったのは、それぞれのお話しの中で共通していた「復興はこれからだ」という言葉です。「復興ブランドではなく本質が良いものを作り出し、これからの南三陸を支えていこう」という気持ちがあつく伝わったし、「復興」という言葉の意味の深さを考えさせられました。

DATA

復興大学
株式会社木の屋石巻水産
雄勝視生産販売協同組合
南三陸町観光協会
南三陸復興タコの会

宮城県仙台市青葉区中央1-3-1アエル7階 TEL.022-716-5023 <http://www.fukkou-daigaku.jp/>
宮城県石巻市魚町1-11-4 TEL.0225-98-8894 <http://kinoya.co.jp/eccube/>
宮城県石巻市雄勝町雄勝伊勢畑84-1 TEL.0225-57-2632 <http://www.ogatsu-suzuri.jp/>
宮城県本吉郡南三陸町志津川字御前下59-1 TEL.0226-47-2550 <http://www.m-kankou.jp/>
宮城県本吉郡南三陸町入谷字中の町227 入谷YES工房内 TEL.0226-46-5153 <http://ms-octopus.jp/index.html>



大崎市鳴子温泉



亶理町
山元町

たびむすび



INFORMATION

東北にも春がやってきました。山菜など旬の食材を楽しむもよし、雪どけや新緑の風景を楽しむもよし、これからはお出かけの季節です。

今回の「旅先ならではの」感動が2倍になる旅「誰かに会いに行く旅」は、澁谷直美さん。亶理に澁谷さんの元気をもらいに行きませんか。

募集型企画旅行

いちご姫ナタリーと行く、いちご狩り

- 出発日 / 2013年6月15日(土)
- 宿泊代金 / お一人様 大人 **2,800円** (大人・子供同額、税込)
- 食事 / なし ● 添乗員 / 同行しません
- 定員 / 20名様 (最少催行人数10名様) ● お問い合わせ / たびむすび営業部までお電話かメールで。

行程

10:00 亶理駅集合 → 10:15 いちご園に移動
いちご姫からのお話しといちご狩り → 12:00 解散



「誰かに会いに行く旅」Vol.1

いちご姫こと
NPO法人ガーネットみやぎ
澁谷直美さん



いちご姫ナタリーこと、働きウーマンにご登場いただいた澁谷直美さん御用達のいちご園をご案内します。澁谷さんが活動をしている亶理・山元を中心に、特産のいちごは震災で大きな被害を受けました。しかし地元の皆さんの尽力で、おいしいいちごを少しずつ楽しめるようになってきました。

今回は、いちご姫ナタリーがいちご園を案内、そこでいちごを育てている方をご紹介いただきながら、実際にいちご狩りも体験します。「いちご」も楽しみですが、「いちご姫」がどんなでたちで案内してくれるのかも楽しみです。

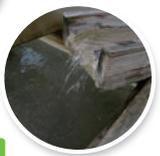
亶理・山元で活動をしてきたいちご姫だからこそご紹介できるいちご狩りです。いちご姫ナタリーの活動をもっと知りたい方、亶理・山元にはなかなか足を運べなかった方、いちご好きな方、ぜひご参加ください。



株式会社 たびむすび (一社) 全国旅行業協会正会員 宮城県知事登録旅行業2-344号
たびむすび営業部(株ゆいネット内) 〒980-0013 仙台市青葉区花京院2-1-14 花京院ビル12F TEL.022-748-6230 FAX.022-726-0343
■ e-mail info@tabimusubi.co.jp ■ WEB <http://www.tabimusubi.co.jp>

ナルハン 鳴子で楽しく半日過ごそう!

鳴子温泉に行ったら、ここもまわってみて!というオススメを紹介いたします。今回のナビゲーターは大崎観光仕掛人育成塾の塾生、親川麗子さんです。テーマは「アウトドア女子のナルハントレッキング」。鳴子で半日楽しく過ごす「ナルハン企画」の第3弾です。今後も大崎に人を呼ぶ、観光仕掛人育成塾の塾生のおススメいただきます。



アウトドア女子のナルハントレッキング

ナビゲーター／親川麗子 ※10:00～15:00の半日を目安としています。時間はみなさんのご都合に合わせてくださいな。

ナビゲーターより一言 鳴子の自然を楽しみながら運動不足を解消する里山ウォーキング半日コースです。時にはゆっくりと足元に咲く草花の物語を聞いてみませんか?

12:30～ ④ランチ「はんどめいどらいむ」

鳴子の森の中に建つログハウス風のかわいいお店。日替わりランチで腹ごしらえ。ここではおいしいコーヒーも楽しめます。



11:30～ ③湯沼

その日の天候によって表情を変えるエメラルド色の神秘的な湖。湖の水はなんと世界でもトップクラスの酸性度を持つそう。周囲には遊歩道があり、さまざまな角度からかがやく湖面が見られます。

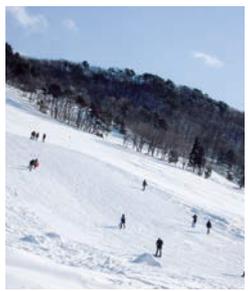
10:00～ 鳴子駅 スタート!

10:30～ ①温泉神社

滝の湯裏手の階段を登った先にある神社。普段はひっそりしているけれど、延喜式にも記載された由緒正しい神社です。玉砂利の敷き詰められた境内でまずは日頃の疲れを忘れましょう。

11:00～ ②上野々スキー場

ゆるやかな広々とした斜面。おいしい空気もごちそうです。じつは宮城県で最も古いスキー場なんですよ。



15:00～ 町なか散歩 ゴ〜レ!!

昼食後は町なか自由散歩と入浴(滝の湯や早稲田栈敷湯)。共同浴場で疲れた足を癒すもよし、商店街をぶらぶらしながらおみやげを眺めるのもよし。「鬼首屋」の季節の山菜でご自宅での夕飯もヘルシーに。また、今日の思い出を活けるのなら「あちごや」、陶器のすてきな一輪挿しを取り扱っていますよ。



手配旅行

金曜日は鳴子に泊まろう「ナルキン」プラン

金曜日は鳴子に泊まろう「ナルキン」プランに新しく「スローライフ琢琇のんびり館」が加わりました。おひとりさまからOKです。

●設定期間／ 2013年4月～2013年9月30日までの金曜日、1泊2日

東鳴子温泉 旅館大沼



- 宿泊代金／お一人様 **6,800円**(税・サービス料込) ※別途入湯税150円がかかります
- 食事／夜食1回(おにぎり2個)、朝食1回
夕食をご希望の場合1,500円(税込)追加。前日17:00までの予約。
- お部屋／本館又は湯治館利用(いずれも原則バストイレなし)
- チェックイン／14:00(最終チェックイン20:00) ●チェックアウト／10:30(通常10:00)
- お申込方法 お電話かメールでたびむすびにお申込ください。空室状況によりご希望に添えない場合がございます。●お支払い チェックアウトの際、旅館で現金にてお支払いください。

鳴子温泉 スローライフ琢琇のんびり館



- 宿泊代金／お一人様 **5,250円**(税・サービス料込) ※別途入湯税150円がかかります
- 食事／夜食1回(おにぎり2個)、朝食1回
夕食をご希望の場合1,500円(税込)追加。前日17:00までの予約。
- お部屋／和室8畳(バスなし、トイレ付)
- チェックイン／14:00(最終チェックイン21:00) ●チェックアウト／12:00

仙台から鳴子までの行き方

高速バス

運行 宮城交通
運賃片道1,200円

仙台駅前発	8:20	10:00	15:00	17:00
東鳴子赤湯着	9:42	11:22	16:22	18:22
鳴子温泉車湯着	9:45	11:25	16:25	18:25

鳴子温泉車湯発	7:30	10:15	14:30
東鳴子赤湯発	7:33	10:18	14:33
仙台駅前着	8:55	11:40	15:55

★旅館大沼へは東鳴子赤湯で下車
★のんびり館へは鳴子温泉車湯で下車
※バス時間、運賃は変更になる場合がございます。
※乗車前にバス会社に直接お問い合わせください。

JR

仙台(新幹線利用:所用時間約15分)
↓
古川(陸羽東線:所要時間約47分)
↓
鳴子
運賃片道2,290円(新幹線自由席利用)

仙台(東北本線利用:所要時間約45分)
↓
小牛田(陸羽東線:所要時間約80分)
↓
鳴子
運賃片道1,620円

他に不定期で仙台から鳴子温泉駅までの全車指定席の快速列車「リゾートみのり」も運行。
※JRの時刻、運賃は時刻表やみどりの窓口等でご確認ください。